

FPまつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

すっかり春らしい陽気になりましたがいかがお過ごしですか？

今年の東京での桜の開花宣言は3月17日、平年より9日、昨年より4日早かったようです。昔に比べると開花が早くなったと感じている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

気象庁は、1953年から2017年までの各地の桜の満開日の推移を公開しています。

http://www.data.jma.go.jp/sakura/data/sakura004_00.html

全国平均でみると、50年で5日、10年に1日の割合で早くなっているようですが、皆さんの地域ではいかがですか？



今月号の話題

資産運用ガイド

3月も2月に引き続き値下がりました。確定拠出年金などの積立投資と一括投資の違いについて整理しました。

ちょっと気になるお金のコラム

平昌冬季オリンピックは日本人選手の活躍もあり盛り上がりましたね。ところでメダリストが受取る報奨金の税金はどうなるのでしょうか？

最近のニュースから

春は進学、進級の季節ですね。卒業、進学をしたご家庭もあると思います。おめでとうございます。

そのような場合には、保険や保障額を見直した方がよいケースもありますので是非ご確認ください。

ところで最近テレビなどで奨学金についての話題をご覧になった方も多いのではないのでしょうか？

奨学金事業を行っている日本学生支援機構によるとH28年度の利用状況は、

利用者数：131万人（高等教育機関の学生347万人の2.7人に1人）
利用額：約1兆円

一人当たり年間約76万円なので4年制の大学を卒業した時点で平均約304万円の借入があることとなります。

報道などでは、「奨学金破綻」「自己破産」など奨学金に対して負の面が協調されることが多い印象ですが、これにより夢をかなえる学生がいることも事実です。

借入をした場合の返済計画の考え方、保証人や保証料について、など奨学金を利用した（している）方もそうでない方も、このような話題を金銭教育の第一歩にしてはいかがでしょうか？

また、小さいお子様をお持ちの方は、時間をかけてしっかりと教育資金の準備をしていただきたいと思います。



FP F P 松本相談センター
CFP・社会保険労務士
媚山裕之
〒390-1702
長野県松本市梓川梓856-26
0263-76-1250 090-8741-7358
info@fp-matsumoto.com
<http://fp-matsumoto.com>

2000年からFP業務を行っています。現在は確定拠出年金の導入及び加入者の方のライフプラン相談、保険相談、資産形成支援業務を中心に活動しています。年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。特に生命保険は、ちょっと見直すだけで保険料は勿論保障内容も大きく変わります。是非ご相談ください。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

3月の株式市場は、日米とも2月に引き続き値下がりしました。2月末→3月末の日経平均は、22068→21454、と2.8%の下落、NYダウ平均株価は、25029→24103、と3.7%の下落となりました。

2か月連続しての下落となりましたが、株式市場は日々値動きを繰り返しながら、また、時として大幅な下落を経験しながら上昇をしてきました。短期的な値動きに惑わされず、積立を継続することが将来の成果につながります。

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2018年1末	110,000	120,389	116,878	113,559
2018年2末	120,000	127,315	124,664	121,795
2018年3末	130,000	132,981	131,999	130,699

2017年3月から始めた毎月10,000円の積立は、2018年3月末で左記図表のようになりました。

3月は2月に続き下落しました。

ニュースなどを見聞きすると不安になることもあると思いますが、積立による長期投資は日々の値動きを上手にとらえて利益をえる、という投資手法ではありません。

値動きや世の中のムードに左右されずに以下を確認し、継続しましょう。

投資（積立）期間に応じた資産配分（株式比率）で積立を継続すること

積立額の増額や株式比率を増やす、等の対応を検討すること

2000年に日本株に投資をした人はどうなった？

この季節は、新たに確定拠出年金に加入（拠出）するかどうか検討している方もいるのではないのでしょうか？そのような中、不安を感じるような値動きとニュースで「やっぱりやめておこうかな」、と持っている方もいるかもしれません。

右図は2000年1月～2018年3月までの日経平均の値動きを表しています。

2000年1月に19,539円だった日経平均株価は、ITバブルの崩壊、2001年9月の同時多発テロ、2003年3月のイラク戦争と悪材料が続き、8,000円割れまで、なんと60%も値下がりしました。

その後、2007年に向けて回復しますが、2008年9月にはリーマンショックが起こり、2009年3月には再び8,000円に値下がりしてしまいました。

2012年以降は国内では大幅な金融緩和と世界的な株高を受け、20,000円を超えるところまで回復してきました。

仮に2000年初めに100万円を投資していた人はどうなっていたでしょう？

日経平均推移



確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

2000年初に投資した100万円は、2003年や2008年には、100万円は40万円ほどになり、2018年現在、ようやく元本を少し上回った状態です。

計算してみると、

100万円 → 109万円 です。途中のドキドキ具合からすると十分に報われたとは言えないと感じるかもしれません。

積立をしていたらどうなっていたか？

では、全く同じ値動きのもの（この場合は日経平均株価）を同じ期間（2000年1月～2018年3月）、毎月1万円ずつ積立をしていたらどうなっていたでしょうか？



上図は積立投資累計額と評価額の推移を表しています。

積立累計額は、
10,000円×219か月＝219万円、です。

途中、2000年から2005年、2008年から2012年までは、評価額が積立累計額を下回っていますが、現時点では積立累計額を大きく上回って、

219万円 → 376万円

になっています。

不思議に感じるかもしれませんが、理由は2つあります。

1. 値段が安くなった時に購入したほうがよい
2. 値段が安い時の方が同じ1万円でも沢山の口数を購入できる

このように、積立投資の成果は、世の中で言われている値動きやそれについてのニュースや論評と、ほとんど無関係と言っても良いかもしれません。

また、積立開始当初は、毎月その時の価格で追加投資をしていくという性格上、大きなマイナス（プラスも）は出にくい、という特徴があります。

確定拠出年金の加入（拠出）について迷っている方は、このような仕組みを理解したうえで検討してはいかがでしょうか？

ちょっと気になるお金のコラム

オリンピックメダリストの報奨金

この冬の平昌冬季オリンピックで日本は冬季史上最多の13個のメダルを獲得、連日テレビ観戦をしていた方も多いのではないのでしょうか？

羽生選手の2大会連続金メダルは勿論ですが、女子カーリング、女子スピードスケートと大会後半になって盛り上がっていったのが印象的です。

オリンピックのメダリストには所属団体から報奨金が支払われます。

メダリストへの報奨金は、以下のようになります。
(2018年2月28日 日本経済新聞参照)

日本オリンピック委員会 (JOC)
金：500万円 銀：200万円 銅：100万円

JOC加盟団体
日本スケート連盟
金：500万円 銀：200万円 銅：100万円

全日本スキー連盟
規定ないが支払う方向

日本カーリング協会
規定なし

日本障がい者スポーツ協会
金：150万円 銀：100万円 銅：70万円

これら以外にも所属企業やスポンサーから報奨金を受取るケースもあります。



報奨金の税金は？

お金を受取った場合には原則税金がかかります。税法では、オリンピックの報奨金は一時所得と規定されています。

4年間の努力は勿論、そこまでに沢山のお金もかかっているのです、その成果であるメダル報奨金に税金がかかると聞くと少し納得がいかないと感じる方もいるかもしれません。

実はH4年のバルセロナオリンピックで金メダルを取った、当時中学生の岩崎恭子選手に課税されたことで議論が起こり、以降非課税になったそうです。

ただし非課税になるのはJOCとその加盟団体からの報奨金で、所属企業やスポンサーからの報奨金は課税になります。

米百俵も課税？

そこで話題になっているのがカーリング女子へのスポンサーからの報奨金（品）である米百俵です（実際にはおこめ券だと言われています）。



日本人一人当たりのコメ消費量は年間60キロなので、米百俵（6トン）は100年分です。

お米（おこめ券）は現金ではないですが、課税所得とみなされ税金がかかります。食べきれないほどのお米をもらって税金を払わなくてはならないのは少し気の毒ですね。

特にカーリングは競技環境が経済的には厳しいので支給する側も少し工夫をしてあげると良いのでは、と感じましたが皆さんはどう思いますか？

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎていないか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に☑、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<http://fp-matsumoto.com/contact/>



FAX:050-3730-0380

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内